

問1 2000年代以降の工場立地件数に関する統計において、群馬県、栃木県、茨城県からなる北関東地域は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県からなる南関東地域を上回る件数を記録したことがあります。北関東でこのように工場立地が進んだ背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。(2017年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 南関東に比べて地価が安く、高速道路網の整備によって広い敷地を確保しやすくなったため。 | 2. 南関東よりも労働賃金が高く、高度な技術を持つ人材が北関東に集中しやすいため。 | 3. 大規模な港湾施設が整備され、内陸部であっても海外からの原材料の輸入が容易になったため。 | 4. 内陸県である群馬県は、地震や台風の影響を全く受けないため、生産拠点が集中したため。 |
|---|---|--|--|

問2 東京都の昼間人口比率が100を大きく超え、全国で最も高い数値を示す背景には、どのような都市構造や社会現象が関係していますか。周辺の県との関わりを踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。(2019年 和歌山公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地(ベッドタウン)が形成され、職住分離が進んだため | 2. 都心部に広大な農業用地が確保され、周辺県から季節労働者が大量に流入するようになったため | 3. 東京都の夜間人口が周辺県に比べて急激に減少したことで、相対的に昼間の活動人口が目立つようになったため | 4. 周辺県の産業が衰退したことにより、すべての住民が東京都内に移住して夜間人口が急増したため |
|---|--|---|---|

問3 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。(2026年 和歌山公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。 | 2. 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。 | 3. 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。 | 4. 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。 |
|--|--|---|--|

問4 東京都から神奈川県にかけて広がる京浜工業地帯の工業出荷額の内訳を調べると、他の工業地域と比較してある特定の産業の割合が非常に高いという特徴があります。その産業として最も適切なものはどれですか。(2017年 山口公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. 出版・印刷業 | 2. 自動車工業 | 3. 繊維工業 | 4. 食料品工業 |
|-----------|----------|---------|----------|

問5 日本の都道府県の中には、県名と県庁所在地の名称が異なるものが多く見られます。関東地方に位置する群馬県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。(2017年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 前橋市 | 2. 高崎市 | 3. 群馬市 | 4. 宇都宮市 |
|--------|--------|--------|---------|

問6 関東平野の広範囲に見られる、富士山などの火山から噴き出した灰が長い年月をかけて降り積もってきた、鉄分が酸化したことによる赤みを帯びた土の層を何と呼びますか。(2026年 和歌山公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1. 関東ローム | 2. シラス | 3. 泥炭層 | 4. 真砂土 |
|----------|--------|--------|--------|

問7 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。(2023年 山形公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 栃木県 | 2. 群馬県 | 3. 福島県 | 4. 滋賀県 |
|--------|--------|--------|--------|

問8 明治政府が輸出を拡大するために1872年に設立した官営模範工場であり、現在は世界文化遺産に登録されている富岡製糸場が所在する、関東地方北西部の内陸に位置する県はどこですか。(2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 群馬県 | 2. 長崎県 | 3. 福岡県 | 4. 三重県 |
|--------|--------|--------|--------|

問9 群馬県におけるキャベツの出荷量は、3月は約80tであるのに対し、8月には1万tを超えて激増するという統計があります。また、群馬県の栽培地点は、千葉県などの平地の地点と比較して8月の気温が低く保たれているという特徴があります。このような標高の高い地域で行われる農業について説明したものと、最も適切なものはどれですか。(2025年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。 | 2. 冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培。 | 3. 大消費地に近い立地を活かし、生産コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届ける近郊農業。 | 4. 化学肥料や農薬を抑え、消費者の健康や環境に配慮して農作物を育てる有機農業。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南関東に比べて地価が安く、高速道路網の整備によって広い敷地を確保しやすくなったため。	北関東自動車道や関越自動車道、東北自動車道といった高速道路網の充実により、都心や港湾へのアクセスが向上しました。都市化が進み地価が高騰した南関東に比べ、安価で広大な土地が確保しやすい北関東は、大規模な工場を建設する企業にとって有利な条件が揃っています。
問2	答え 1 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地（ベッドタウン）が形成され、職住分離が進んだため	都市の過密化や地価の高騰により、人々の居住機能が郊外の「ベッドタウン」へと移転しました。一方で、オフィスや学校などの都市機能は都心部に集中したままであるため、昼間だけ都心へ移動し、夜間は郊外の自宅へ帰るといった「職住分離」が進展しました。この構造的な要因により、東京都の昼間人口比率は100を大きく上回る状態が続いています。
問3	答え 1 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。	孺恋村は標高が高く、夏場でも気温が低いという地理的利点があります。平地の産地では気温が上がりすぎてキャベツの品質が落ちる7月から10月の時期に、孺恋村は出荷のピークを合わせることで、市場における競争力を高めています。このように出荷時期を遅らせる栽培方法は、暖かい気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な特徴を持ちます。
問4	答え 1 出版・印刷業	京浜工業地帯は、日本の政治・経済の中心地である東京を含んでいるため、新聞社や出版社などの情報発信機能が集中しています。また、膨大な人口を抱える巨大な消費地でもあることから、情報の鮮度が求められる出版・印刷業や、情報通信といった情報サービス業の割合が全国的に見ても極めて高いのが大きな特徴です。
問5	答え 1 前橋市	群馬県は県名と県庁所在地が異なる県の一つであり、その名称は前橋市です。選択肢にある高崎市は県内最大の人口を持つ都市ですが県庁所在地ではありません。また、宇都宮市は隣接する栃木県の県庁所在地です。なお、かつては「群馬郡」という地名はありましたが「群馬市」という市は存在しません。
問6	答え 1 関東ローム	関東平野の大部分を覆うこの土層は、富士山や箱根山、浅間山といった周辺火山の噴火によって放出された火山灰が風で運ばれ、堆積したものです。この層は酸化した鉄分を含むため特有の赤色を呈しており、関東平野における台地の主要な構成要素となっています。九州南部に広がる火山灰由来の白い地層「シラス」と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 栃木県	栃木県は関東地方を代表する農業県の一つであり、米の産出額などの統計において、山形県や大分県といった各地方の主要な農業県と比較されることがあります。北関東の内陸部という地理的条件を活かし、水田単作地帯だけでなく、園芸農業も発展しています。同じ北関東の内陸県である群馬県は、からっ風を利用した畑作や畜産のイメージが強いのに対し、栃木県は平野部での安定した米作りが大きな特徴です。
問8	答え 1 群馬県	富岡製糸場は、明治政府が外貨獲得のために高品質な生糸を大量生産する目的で、現在の群馬県富岡市に設立しました。群馬県は江戸時代から養蚕業（カイコを飼って繭をとる産業）が盛んであったため、原料となる繭の調達に非常に有利な条件が整っていました。長崎県などは「明治日本の産業革命遺産」として別の世界遺産に関連していますが、富岡製糸場は群馬県に位置します。
問9	答え 1 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。	群馬県の孺恋村などに代表される地域では、標高が高いことによる「夏に冷涼な気候」を活かした農業が行われています。平地の気温が上昇し、キャベツなどの生育が難しくなる8月前後に収穫時期を合わせることで、市場への安定供給と高い収益を実現しています。冬の温かさを利用する「促成栽培」や、都市への近さを利用する「近郊農業」とは、利用する自然的・社会的条件が異なります。